

山形、連敗3で止める 静岡に94-92



2部第8節第3日

バスケットボール男子・Bリーグ2部は第8節第3日の19日、各地で4試合を行った。東地区のパスラボ山形ワイヴァンズは山形市総合スポーツ

ディフェンス修正して臨んだ

石川裕一ヘッドコーチの話 特にディフェンスを修正して臨んだ。前半、良い入りができた。第3クォーターは10点差をひっくり返されたが、持ち直した。ベンチスタートの選手が活躍し、非常に良い流れをつくってくれた。

山	27-19	94	勝	7
形	24-22		敗	8
	15-26			
	19-18			
	延9			
		92		
				7
				勝
				敗
				7



「山形-静岡」勝利を決め喜ぶ山形の白戸大聖(左)とマイケル・フィンケ
山形市総合スポーツセンター

センターで静岡(西地区)と通算成績は7勝8敗、順位は対戦し、延長の末、94-92で4位のまま。山形はマイケル・フィンケが先発した。前半は2点シュートを相手を上回る

山形		静岡	
得点	94	得点	92
③	22	③	12
②	12	②	8
①	2	①	2
計	122	計	132
③	23	③	15
②	11	②	10
①	1	①	7
計	35	計	32
③	10	③	10
②	15	②	12
①	12	①	10
計	37	計	32

3点シュート一瞬の隙逃さず

マッチアップ

会場が万雷の拍手に包まれた。観客の視線を集めたのは白戸大聖。延長残り1分35秒、2点を追う場面で3点シュートを沈め、逆転してみせた。延長は85-85でスタート。攻防を繰り返す中、一瞬の隙を逃さなかった。立ち上がる身長207センチのケニー・ロンドン・ジュニアの対応の遅れを見て取り、ちゅうちよくなく外角シュートを放った。「点差を意識していた。どのシュートにも自信を持っていた。決めて流れを引き寄せたかった」。殊勲の1本にも表情を引き締めたままだった。

(山崎哲)

試合後、前日の静岡戦で得点源のジェームズ・ベルが1試合の出場停止処分を受けたことを念頭に「チーム一丸で」と試合前に意思統一を図っていたことを明かした。この一丸を体現するようにこの日は、流れが相手に傾きかけた後半、途中出場の高橋浩平、阿部龍星(山形南高出)らが得点を重ね、流れを引き戻した。石川裕一ヘッドコーチは「常に準備してくれているのを見ている。結果を出してくれたのは普段の頑張りのおかげ」とねぎらった。司令塔役の村上慎也は「チームとしてステップアップする試合になった」と手応えを口にした。

(山崎哲)

【評】山形は攻撃が機能し延長戦に競り勝った。第3クォーター(Q)に逆転され流れが相手に傾きかけたが、第4Qで途中出場の選手が粘って、得点を重ね、チームをリズムに乗せた。延長最終盤に白戸が3点シュートを沈め、勢いづけたのも大きかった。

【注】RはリブはFは合計Fは合計Rは合計

思いに呼応するようにマイケル・フィンケも3点シュートで続き、リードを広げた。白戸はファウルを誘いフリースローを得るなど、最後まで攻めの姿勢を貫いた。試合が終わると、2人はコート上で抱き合い、破顔した。

真が13得点、村上と白戸がそれぞれ12得点、ルースベルト・アダムスが10得点、ホリフ・イールドが11リバウンドだった。次節は24、25の両日、米沢市営体育館で越谷と対戦する。(山崎哲)

ベル1試合出場停止 接触プレーで処分

B2東地区勝敗表

順位	チーム	勝	敗	勝率	差
1	A千代田	13	2	.867	-
2	①越谷	11	4	.733	2.0
3	②青森	9	6	.600	4.0
4	③山形	7	8	.467	6.0
5	④福山	5	10	.333	8.0
6	⑤岩手	3	12	.200	10.0
7	⑥新潟	1	12	.077	11.0
8	⑦新潟	0	12	.000	12.0

(注)順位はリーグ規定による

トヨタ自動車はシラソハナファブが第1Qだけで12点を決めると高い得点力で序盤から相手を突き放し、41-18と大差で前半を折り返した。ベルはこの日の西地区・静岡戦に出場できなかった。18日の静岡戦第4クォーターで、相手と接触したプレーが暴行行為とされ、リーグの懲罰規定に基づき処分が決まった。(山崎哲)

滋賀 76-73 神奈川 77-73 福井 77-73 青森 81-69 岩手 76-73 山形 94-92 静岡 77-73 新潟 81-73 長野 77-73 山梨 81-73 山崎哲